

函 企 計

令和 6 年 (2024 年) 8 月 2 3 日

市議会議員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記の資料を別添のとおり配付いたします。

記

配付資料 市長公約の令和 5 年度進捗状況

(計画推進室計画調整課)

市長公約の令和5年度進捗状況（集計）

【進捗状況】 実 施：実施済み，または推進中のもの
一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
検 討 中：実施に向け，検討を行っているもの

分野	実施	一部実施	検討中	分野 合計
1 子どもたちの 未来を守ります	12	3	2	17
2 医療，福祉，暮らしを 守ります	40	4	15	59
3 経済・観光を 再生します	35	4	8	47
4 文化・スポーツ振興で 未来を育みます	4	4	6	14
進捗状況 合計	91	15	31	137

※公約138項目のうち、「手話言語，障害者コミュニケーション条例の制定」は，再掲分を含め1項目としているため，集計上，“137”となる

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
1 子どもたちの未来を守ります		
1 第2子以降の保育料無償化（所得制限なし）	実施	・R6年度からの無償化に向け、既存システムの改修等の準備を実施（R6年4月に認可保育施設における第2子以降保育料の完全無償化を実施済）
2 入学準備のため、新小学校1年生を対象に1人につき10万円支給（所得制限なし）	実施	・R6年度からの入学祝金支給に向け、システム構築等を実施（R6年度から入学祝金の支給を開始済）
3 子ども総合支援センターの整備（0歳から高校生までの悩み不安への相談・支援）	実施	・「子ども家庭センター」開設に向けた取組を実施（R6年4月に開設済）
4 子ども冒険公園（プレーパーク）の整備	検討中	・子ども冒険公園（プレーパーク）の実施に向け、関係団体との意見交換等を実施
5 児童向け海洋学習・釣り体験・食育の機会拡充	実施	[児童向け海洋学習] ・マリンフェスティバルを実施したほか、JAMSTECと連携した児童生徒向け事業や「海洋に関するSTEAM教育」の先進自治体への視察等を実施 [釣り体験] ・函館港港湾施設（緑の島）での釣り場・釣りイベント会場の提供を継続実施 [食育] ・若い世代への食育実践事業（親子料理教室）や離乳食教室を継続開催
6 学童保育の支援、学童保育料助成の拡充	実施	・放課後児童クラブの保育料軽減を拡充（月5千円→6千円）
7 いじめ未然防止対策の強化	実施	・いじめ防止対策に関する調査審議および重大事態発生時の調査を行う「いじめ防止対策審議会」を開催したほか、いじめ見逃しゼロリーフレットの配付や「子どもの悩み相談電話」を継続実施 ・小学校にスクールカウンセラーを派遣
8 ヤングケアラーとその家族を支える対策の推進	実施	・ヤングケアラーの実態調査を実施したほか、理解を深めるためシンポジウムを開催
9 子どもの体力向上、運動習慣定着促進	一部実施	
①保育園、幼稚園にプレイリーダーの派遣（スポーツクラブと連携）	（一部実施）	・一部施設の状況把握を行い、R6年度の実態調査に向けた質問内容の精査を行った ・スポーツ指導者資格取得および派遣に要する補助を継続実施
②安全にボール遊びができる地域公園など子どもが安心して遊べる場の創出	（検討中）	・子ども冒険公園（プレーパーク）の実施に向けた関係団体との意見交換の結果等を踏まえ、内部検討を進めることとした
10 「未来の学び」推進会議の設置	検討中	・子ども未来部と教育委員会が「未来の学び」に一致して執行にあたる体制等について検討を実施
11 公立はこだて未来大学授業料無償化対象の拡大検討 ※北斗市、七飯町と協議する（入学3年前から市内に居住する市民を対象、世帯年収上限を引上げ）	実施	・R6年度からの無償化に向け、関係機関との協議等を実施（R6年度から2市1町（函館市、北斗市、七飯町）に生計維持者が入学時3年前から継続して住所を有する在学学生を含む学部生を対象に授業料・入学料の無償化を実施済）

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
12 教育DXで誰もが自分らしく学べる環境の整備	実施	・GIGAスクール構想実現に向け、ICT機器等の環境整備やICTサポートセンターの運営、デジタルAIドリルの運用を継続実施
13 私立学校・私立専修学校への運営助成費を拡充	実施	・運営助成費を増額（学生・生徒3万円/人→4万2千円/人）
14 スクールカウンセラー・特別支援員の増員	実施	・小学校スクールカウンセラー派遣事業を新設するとともに、特別支援教育支援員を増員
15 部活動の地域移行の推進，学校への部活動専門員の派遣	一部実施	・部活動のあり方を検討・協議する協議会を開催したほか、先進地視察や児童生徒等へのアンケート調査等を実施（R6年度に地域連携として拠点校方式による合同部活動のモデル事業を実施）
16 放課後の無料学習支援事業の実施（多様な子どもの居場所づくりの推進）	実施	・アフタースクール運営事業や生活困窮世帯の中学生への学習支援事業を継続実施
17 魅力ある図書館づくりの推進「多世代型の文化交流・創造拠点へ」	一部実施	・地区図書室の活性化を図るため旭岡・港図書室において住民対象イベントを継続実施
2 医療，福祉，暮らしを支えます		
18 看護系大学・看護学部設置検討	検討中	・医療機関等へのアンケート調査や市内関係機関等へのヒアリング，先進事例調査を実施
19 带状疱疹ワクチン接種への補助	検討中	・事業化に向け，他都市の事例調査や関係団体との協議等を実施
20 南茅部病院新築建て替えの推進	実施	・R9年度の開院に向け，基本構想および基本計画を策定
21 安心できる地域医療提供体制の構築	実施	・北海道が策定した地域医療構想の推進に向け，地域医療構想調整会議へ参加し，協議を行った ・夜間急病センターの体制維持・確保のため，R6年度の市立函館病院への小児初期救急の受入移管に向けた準備を行った（R6年4月に市立函館病院へ小児初期救急の受入を移管済）
22 高齢者交通助成の拡大（年間6000円から1万円に増額） ※高齢者の外出支援，免許返納促進	実施	・R6年度からの助成額拡大に向け，システム変更や市民周知等を行った（R6年4月に高齢者交通料金助成の上限額を1万円に増額済）
23 プラチナ世代の人材バンク設立 ※認知症予防，高齢者の生きがいづくり	一部実施	・在宅福祉ふれあい事業費補助金，介護支援ボランティアポイント事業を継続実施したほか，更なるボランティア活動の促進に向け，現状分析等を実施
24 介護福祉養成校への補助増額など介護人材確保対策の強化	実施	・介護人材の確保・地域定着を図るため，R6年度の地域定着奨励金支給に向けた制度の事前広報を実施（R6年4月から地域定着奨励金制度を開始済） ・介護福祉士養成施設等が行う介護人材養成活動に助成したほか，介護職員の研修費用補助や潜在介護職員等への就労支援，小・中学生を対象とした体験講座等を継続実施
25 福祉法人間連携による研修，採用の仕組みづくり	検討中	・連携推進法人制度の周知と全国の設置状況について情報収集を行った
26 福祉人材海外研修の実施	検討中	・内部検討を実施

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
27 手話言語、障害者コミュニケーション条例の制定	検討中	・学識経験者、当事者団体等との懇話会を実施
28 ストップ糖尿病アクションプランの策定・推進	検討中	・第3次函館市健康増進計画の策定の中で取組を検討
29 科学的アプローチで市民の生活習慣改善を推進「健康寿命日本一を目指す」	実施	・健康・利用に関するデータ分析等を反映させた第3次函館市健康増進計画を策定したほか、「はこだて市民健幸大学」と連携したイベントや生活習慣病の予防対策やたばこによる健康被害の防止対策、企業等の健康経営を推進する普及啓発セミナーを継続実施
30 がん検診率の向上対策の強化	実施	・がん検診無料クーポン券の配付対象に40歳を追加 ・HP・SNS等による情報発信や受診勧奨チラシ配付等を継続実施
31 口腔内健康の向上強化	実施	・40歳以上の成人および妊産婦への歯科健康診査を継続実施したほか、学校、企業、介護施設等への歯科医師派遣による講話、研修等を継続実施
32 妊産婦に対する保健師等支援強化	実施	・マザーズ・サポート・ステーション事業(面談、訪問等)を継続実施したほか、支援を要する妊娠8カ月頃の妊婦に対する相談支援を実施
33 除排雪の強化(予算の確保、通学路除排雪の強化、GPSやIT活用、持続可能な除排雪体制や雪堆積場の確保など)	実施	・R6年度からGPSを活用した除雪管理システムの運用に向け、他都市の導入事例等を調査(R6年度にGPSを活用した除雪管理システムの試験運用を実施予定)
34 街路灯整備の町会負担分の無償化	一部実施	・町会負担の軽減を図るため、R6年度の補助上限額引き上げに向け、関係団体との協議を実施し、制度改正を行った
35 町会アドバイザーの全国公募と若者加入の促進	検討中	・内部検討を実施
36 老朽化している市道の整備推進	実施	・舗装修繕計画の見直しに向け、路面性状調査の検討を実施(R6年度に路面性状調査を開始済)
37 空き家、空き室の活用対策と高齢者に対する住宅の確保・支援	実施	・高齢者等各種相談窓口での住宅の確保・支援に関する情報提供・相談対応を継続実施 ・空家等の改修支援補助制度を継続実施したほか、函館市居住支援協議会において実施した実態調査を踏まえ、住宅確保要配慮者に対応可能な民間賃貸住宅をつなぐ枠組を検討
38 歴史的建造物の保存強化と所有者への支援充実	実施	・歴史的建造物等の保存・保全や活用に向けた補助を継続実施
39 過疎地や高齢者の足となる公共交通機関の支援	実施	・バス生活路線の維持・確保のため赤字路線の運行費支援を継続実施したほか、公共交通運転手確保のための募集説明会を開催 ・地域公共交通計画を策定し、計画に基づく各種取組の展開に向け、検討を実施(R6年4月から公共交通運転手確保のための補助制度を開始したほか、R6年度に西部地区においてAIデマンド交通の実証運行を実施予定)
40 近隣に公衆浴場の無い公営住宅の問題解決に努める	実施	・湯川団地に隣接する廃業した公衆浴場を市が取得し、市直営として共同浴場の運営を開始

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実 施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検 討 中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
41 小規模公衆浴場の運営支援の強化	実施	・経営安定化のため光熱費や設備改修費等への補助を拡充
42 動物愛護センターの誘致推進，動物愛護団体への支援拡充	実施	・動物愛護団体への補助を継続実施したほか，動物愛護管理センターの運用に向け，北海道などとの協議を実施（R6年度から動物愛護管理センターの北海道との共同運用を開始予定）
43 結婚支援の推進（出会いの場サポート事業）	検討中	・事業実施に向け，他都市の事例調査等を実施
44 ライフプラン相談センターの設置	検討中	・事業実施に向け，他都市の事例調査等を実施
45 市の各種手続き・サービスのデジタル化を実施，デジタルファースト条例の制定	一部実施	・函館市デジタル変革推進ビジョンを策定したほか，函館市公式LINEのリニューアルやオンライン申請可能な手続きの拡充を行った
46 市の各部署が市民，事業者の要望をくみ取り，市政運営に活かす仕組みづくり	実施	・市民の声の継続実施や，各種団体や学生との懇談会の場を設定し，要望・意見を把握するとともに，各部署が市民等からの様々な声を拾い上げ，各種施策づくりの参考にすることについて，通知文書や広報連絡会議の場を活用して周知を図った
47 国際緊急災害支援の拠点都市形成	検討中	・国における災害時等の船舶を活用した医療供給体制の整備の検討状況に係る情報収集を実施
48 市長直轄の危機管理監を設置，初動体制の強化	実施	・組織体制の整理等を実施し，R6年度から危機管理監を設置することに決定（R6年4月に危機管理監を設置済）
49 災害時要支援者個別避難計画の作成促進	実施	・避難行動要支援者のうち，優先度の高い対象者の個別避難計画の作成を実施
50 消防団員の待遇改善，定数確保	実施	・ポスターやチラシ等による入団促進運動を継続実施 ・協力事業所に対する優遇措置制度を検討
51 救急車等の緊急車両の整備推進	実施	・消防車・救急車等の計画的な更新を継続実施
52 老朽化した水道管の更新計画の策定	実施	・第2期老朽管更新計画および函館市上下水道事業経営ビジョンに基づく計画的な整備を継続して行った
53 危険な老朽家屋の解体の推進	実施	・空家等の除却支援補助制度や，所有者不明土地建物管理制度等を活用した特定空家等の解消に向けた取組を継続実施したほか，空家等実態調査を実施
54 児童公園等の遊具の定期点検強化と整備	実施	・遊具等施設の点検・修繕のほか，函館市公園施設長寿命化計画に基づく改築・更新を継続実施
55 事故，暴力，犯罪，自殺などに対し，多機関と住民が協働する「セーフコミュニティ」の形成	検討中	・他都市の取得状況の把握等を行った
56 犯罪被害者支援条例の制定	検討中	・他都市の取組状況の把握等を行った
57 再犯防止計画の策定と対策の実施	実施	・函館地区保護司会事業への補助金および更生保護法人函館創生会への負担金を継続支出 ・R4年10月に地方再犯防止推進計画として位置付けた第4次函館市地域福祉計画について，R6年度の中間評価に向け，地方再犯防止推進計画である旨の具体的な記載内容に関する検討を行った
58 大間原発建設凍結に向けた建設差し止め訴訟の取組	実施	・訴訟を継続実施

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
59 女性とともに未来100人委員会の設置（市長が女性の意見を聞き、市政に反映）	一部実施	・市長と女性の意見交換会を2回開催
60 女性の社会活動や地域貢献に関する実態調査と、その支援	検討中	・内部検討を実施
61 性別に関わらず、誰もが働きやすい職場環境づくり	実施	・企業へのワーク・ライフ・バランスアドバイザーおよびLGBTフレンドリー企業推進アドバイザーの派遣を継続実施
62 女性の雇用や再就職支援、相談機能の充実	実施	・女性等の雇用促進を図る企業向けセミナーや女性等の潜在人材掘り起こしに向けた就職基礎講座、企業とのマッチングイベント等を継続実施
63 男性の育児休業取得の促進	実施	・市HPや子育てアプリ等により、企業や父親への制度周知を継続実施
64 えるぼし取得の促進（女性活躍推進優良企業に対する厚労省の認定制度）	実施	・市HP等により企業への制度周知を継続実施
65 性暴力被害者相談窓口の充実	実施	・性暴力被害者支援や保護・自立援助を要する女性の相談体制を継続して確保
66 性犯罪・性被害・DVの予防に向けた取組の充実	実施	・CAPプログラムの活用による予防教育として、希望する中学校でデートDV教室の講座を実施
67 「生理の貧困」対策の推進	実施	・女性つながりサポート事業における相談の実施および生理用品の継続提供を行った
68 市役所管理職の女性登用率の向上	実施	・女性職員向け職員研修や研修機関への女性職員の派遣、多様な部門への女性職員の配置を継続実施
69 バリアフリー構想の策定・推進	検討中	・内部検討を実施
70 障害者雇用の促進（企業へのアドバイザー派遣、発達障害等への理解促進）	実施	・障がい者の雇用促進を図るセミナーや理解促進を図る事業者等への研修会を継続実施
71 インクルーシブ教育の推進	実施	・インクルーシブ教育システムの構築に向け、教員向け研修を実施
72 精神障害に関する地域包括ケアシステムの推進	検討中	・地域包括ケアシステムのあり方について、内部検討を実施
73 性の多様性に対する理解促進、パートナーシップ宣誓制度導入自治体との連携	実施	・企業へのLGBTフレンドリー企業推進アドバイザーの派遣や、市民・企業向け周知啓発イベントを継続実施 ・パートナーシップ宣誓制度導入自治体との連携を図った
74 多文化共生意識の啓発、コミュニケーション支援の充実	実施	・外国人住民と市民の交流行事を継続実施したほか、多言語音声翻訳サービスを試験導入のうえ配置した
75 障害者アートまちなか美術館の開催、障害者芸術文化活動の拠点づくりの推進	実施	・授産製品の販売イベントに合わせて障がい者作品展を開催した ・障がい者の文化芸術活動の発表の場提供に向けて検討を実施
76 障害者が気軽にスポーツを楽しめる環境の整備、指導者の育成・支援	実施	・身体障がい者がスポーツを体験できる場として、車椅子バスケットボール等のスポーツ教室やはこだて市民健幸大学のイベント内で体験イベントを開催したほか、パラスポーツ団体との懇談会を開催し、普及・振興策を検討した

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
3 経済・観光を再生します		
77 根付魚種の放流事業・養殖事業の充実・拡大、北大および水産試験場との連携強化（コンブ、ウニ、アワビ、タコ、カレイ等）	実施	・キングサーモン・コンブの完全養殖研究、天然コンブの繁茂研究等を継続実施 ・ウニの品質向上のため、生育不良ウニの蓄養試験を実施
78 磯焼け対策の推進	実施	・漁場の管理保全を図るため、雑海藻やウニの駆除、天然コンブ繁茂対策等への補助や藻場の保全等の活動を行う協議会への負担金支出を継続実施したほか、R5年度から天然コンブの資源回復のため藻場投石やウニの密度管理等を実施 ・北海道による漁場整備事業への市負担分を継続支出
79 投石等による藻場や産卵礁の整備、資源の確保	実施	
80 イカ、マグロ等の漁船漁業への支援強化	実施	・小型イカ釣り漁業の出漁を支援するための補助を継続実施
81 河川整備・植林拡大 ※汚泥の流出を削減し、海の環境を守る	実施	・河川浚渫工事による治水対策や治山事業の継続実施
82 漁協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	実施	・漁業就業者確保のため、漁業に必要な資格取得費の一部補助を継続実施
83 未利用水産資源の活用研究	実施	・R6年度からのブルーカーボンの活用事業実施に向け、関係機関との事前協議等を実施（R6年度にCO2吸収量調査を開始しており、同年度中にクレジットの認証に向けた申請を行う予定）
84 ビニールハウス栽培への支援を強化し、通常出荷体制を拡大・充実	実施	・農作物の荷受け設備等の整備補助や農業用機械等の購入資金の貸付を継続実施
85 農協との連携を強化し、就業人口・所得の拡大に取り組む	実施	・新規就農者への継続補助やR5年度から計画認定など農業法人の参入促進を実施したほか、農業法人参入フェア（東京・大阪）へ参加 ・グリーン・ツーリズムの推進に向け、モニターツアー等を実施 ・目指すべき将来の農地利用のあり方を示した「地域計画」策定に向け、関係機関等との協議を実施
86 肥料の高騰に対する支援強化	実施	・肥料・飼料の価格上昇分の一部補助を実施
87 山林の整備（植林、下刈、枝打ち等）に対する支援を充実し、美しい山を創る	実施	・私有林の適正管理のため補助事業を継続実施したほか、未整備森林所有者と協議を行い、森林経営計画への参加を促し、未整備森林の適正管理を進めた
88 間伐材の利用促進	実施	・間伐材を含めた地域材について、公共工事での利用や木育工作教室の開催などの利用促進に向けた取組を継続実施
89 自然エネルギーコミュニティ構想の策定・推進（北海道と連携し、再生エネ導入、電力地産地消を推進）	一部実施	・再生可能エネルギー普及啓発のため、エコフェスタ等でのパネル展示やワークショップを継続実施したほか、再生可能エネルギーの導入拡大を図るため、太陽光発電システム等の導入に係る補助を継続実施
90 オール函館体制によるスタートアップ支援の強化	実施	・創業支援として、函館地域産業振興財団との共催により、事業費用の助成やセミナー・相談事業等を継続実施したほか、若者の創業を促進する学生向けセミナーや起業体験プログラム等を実施

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
91 Society5.0に対応した人材育成と大学発ベンチャー創出支援	実施	・未来のIT人材育成のため、ロボット教室やプログラミングコンテスト等を継続実施
92 交通アクセス、人材養成、都市ブランドを活かした企業誘致の強化	実施	・企業訪問や誘致イベントへの参加、オンラインでの面談等における企業誘致活動を実施 ・企業立地に係る設備投資への補助を継続実施したほか、立地環境の調査に係る視察費用やサテライトオフィス等の開設・運営に係る経費の補助を実施
93 臨港地区の土地利用規制の緩和と活性化	検討中	・内部検討を実施
94 ふるさと納税を活用した産業振興とシティプロモーション (4年後の目標：年間寄付額100億円)	実施	・寄附額の拡充に向け、新たなポータルサイトを開設したほか、オンラインワンストップ特例申請の導入、旅行系返礼品の充実を図った
95 中小企業振興基本条例の実効性向上 (中小企業活性化戦略の策定・推進)	検討中	・R6年度からの具体的な検討に向け、中小企業振興審議会での意見交換等を実施
96 販路拡大支援の強化と新たな地域ブランド形成	実施	・函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカス等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催、「函館いか祭り」に継続して参画 ・海外販路の拡大に資する展示商談会等の参加経費の補助を継続実施したほか、R5年度から市内食品関連事業者のEC導入費の補助を開始
97 生鮮食料安定供給の基幹インフラである水産物および青果物地方卸売市場の機能強化に向けた取組の推進	実施	・水産物・青果物地方卸売市場の改良工事や維持補修に係る緊急工事を継続実施 ・青果物卸売市場では活性化対策の具体化に向けた検討を実施
98 人口減少・少子高齢化に対応した雇用・労働政策の着実な推進	実施	・大手就職情報サイトに市内企業の採用情報に加え、新たにインターンシップ受入情報を掲載したほか、高校生の仕事体験を通じて市内企業の魅力を伝えるしごとフェスタを継続開催 ・市内企業等の情報発信、UIターン希望者向けの求人掲載・マッチング等をコンテンツとするポータルサイトの運営を継続実施 ・R6年度からの奨学金返還支援制度の開始にあたり制度の事前広報を実施（R6年4月に制度開始済）
99 DX人材リスキリング支援（デジタルスキル研修支援）の実施	実施	・市内中小企業等におけるDX推進のため、普及啓発セミナーや人材育成研修補助等を実施
100 ふるさとの職場を知る教育の実施 ※一旦地元を離れてもやがて戻ってくる人材サイクルの構築	実施	・中学生による職場体験等を継続実施
101 移住支援金の独自上乗せ支給の実施、移住担当の専任セクションを新設	実施	・移住支援金の継続支給を行ったほか、R6年度に向けて対象要件の拡充を検討（R6年4月に対象要件を拡充済） ・移住フェアイベントへの継続出展を行ったほか、R6年度からの移住担当専任セクション新設に向け、協議等を実施（R6年4月に移住・人口減担当を設置済）

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実 施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検 討 中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
102 域内経済循環と地産地消の推進	一部実施	
①事業の地元優先発注の拡大	(一部実施)	・地元優先発注に係る各部署への周知啓発や発注基準等の見直しに向けた調査・協議を実施
②はこだてグリーンプラザに地産地消カフェストリートを整備	(検討中)	・グリーンプラザの活用方法を含めた駅前・大門地区のにぎわい創出に向け、市の各種計画等による事業を取りまとめ、庁内共有を図った
③地元の市場・商店街での回遊型ショッピング、ブランド力向上など市場・商店街の魅力発信・活性化	(実施)	・商店街イベント補助、空き店舗活用補助、商業機能強化補助を継続実施 ・中心市街地の賑わい創出として、五稜郭まちなかフェスティバルを継続実施
④地元食材活用促進キャンペーン等による消費行動変容の促進	(実施)	・はこだてフードフェスタを継続実施したほか、函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカス等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催、「函館いか祭り」へ継続して参画
⑤街なかファーマーズマーケットの開催	(一部実施)	・函館産農水産物のPRとして、はこだてグルメサーカス等の食関連イベントへの出展や料理教室の開催を継続実施
103 観光地域づくり法人(DMO)の設立、「観光地経営」の視点に立った戦略的な観光施策の推進	検討中	・他都市の先行事例調査を実施
104 観光消費額の増大(観光客1人当たり消費額の倍増を目指す)	実施	・コンベンションの誘致活動やMICEの誘致商談会等へ継続して参加したほか、各種会議、大会、学会等の誘致等の各種補助を継続実施 ・中国富裕層向けの観光コンテンツの造成やイーストジャパンキャンペーンの推進体制構築に向け、関係機関と協議したほか、欧米向けインバウンドの動向調査を実施
105 観光競争力強化プログラム(3年スパン)の新規策定	実施	・新たな観光基本計画を策定
106 「Yakeiプロジェクト」を推進 ※函館夜景の魅力向上と海外への発信強化	実施	・R6年度からの事業実施に向け、現状把握や他都市の先行事例調査等を実施(R6年度に山頂展望台の魅力向上や混雑緩和に向けた実証実験等や混雑状況配信システムの導入を予定)
107 ラグジュアリーツーリズム(富裕層向け観光施策)の推進	実施	・中国富裕層向けの観光コンテンツの造成やモニターツアー等を実施
108 縄文文化や遺跡群のPR活動を充実・拡大し、世界へ発信	実施	・イベントの継続開催のほか、拠点施設の誘致推進に向けた活動を実施 ・縄文遺跡群等への定期観光バス運行を目指した実証実験を実施
109 「海」を活かした観光振興(マリンレジャー・コンテンツ開発、フィッシングツーリズム)	検討中	・内部検討を実施
110 「食の都・函館」のブランド構築・発信強化	実施	・食ポータルサイトのリニューアルやSNSフォローアップキャンペーンを実施
111 欧米向けプロモーションの強化	実施	・欧米インバウンドの動向調査を実施(R6年度に米国旅行者を誘致するプロモーションを実施)
112 北関東・東北地方と連携し、外国人観光客を東京から北に向かわせる「イーストジャパン・キャンペーン」の実施	実施	・イーストジャパンキャンペーンの推進体制構築に向け、関係機関との協議を実施(R6年度に推進に向けた協議会を設立し、観光ルートの造成等を実施)
113 札幌・千歳から函館までの「大半島」広域観光連携の推進	検討中	・内部検討を実施

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実 施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検 討 中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
114 観光人材の育成（ガイド養成強化）	実施	・R5年度からアドベンチャートラベル（AT）普及促進のための事業者交流会や人材育成を図るAT体験会等を実施したほか、縄文文化通訳ガイド人材バンク登録者等を対象に通訳案内士養成講座を継続実施
115 集客力のあるイベント開催（アートをテーマにした秋季イベント、新たな冬季集客イベントの創設）	一部実施	・グルメサーカスやMOMI-Gフェスタ、はこだてクリスマスファンタジー等を継続開催 ・アート誘客イベントを検討
116 活火山「恵山」エリアの観光魅力づくり（灯台利活用、ランニング・自転車イベントの開催検討）	実施	・灯台ホリデイin恵山岬灯台公園の情報発信等、後方支援を実施 ・道南初のサイクルルートとして、本市域を含む「どうなん海道サイクルルート」が認定され、サイクルルートマップを作成した（道南サイクルツーリズム推進協議会）
117 朝の観光コンテンツづくりとナイトタイムエコノミーの推進	一部実施	・夜間のにぎわい創出のため、はこだてグリーンプラザのイルミネーション「はこだてルミポップ」を継続実施 ・ナイトタイムエコノミー推進に向け、関係団体との協議を実施 ・インバウンド向け「スナック」を活用したナイトタイムエコノミー拡大実証実験を実施
118 ユニバーサルツーリズム（高齢、障害の有無にかかわらず誰もが参加できる旅行）の推進、道内ネットワークの拠点形成	検討中	・他都市の先行事例調査や観光スポットや交通機関等のユニバーサルツーリズムへの対応状況に関する効果的な情報発信等を検討
119 新幹線の現函館駅乗入れに関する調査の実施	実施	・函館駅乗入れに関する調査を実施し、調査結果を公表
120 道内外の新規航空路線の充実、海外路線ネットワークの拡大（アジアからのゲートウェイに）	実施	・安定した路線維持に向け、市民等への就航路線のPRや函館線就航地でのPRを継続実施したほか、海外プロモーションの随時実施による函館線のPRを継続して行った
121 函館空港の優位性を活かした周辺地域の活性化	検討中	・内部検討を実施
122 縦貫自動車道、函館・江差自動車道、新外環状道路（古川道路）、松前半島道路、尾札部道路等広域道路網の整備促進・早期着手・調査促進（国への要望）	実施	・市・市議会合同要望、渡島総合開発期成会、北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会等の道路4期成会により、国等への要望活動を継続実施
123 高速道路整備促進の担当部門を設置	検討中	・内部検討を実施
4 文化・スポーツ振興で未来を育みます		
124 国際文化芸術創造都市ビジョン策定・推進（まちが舞台となる劇場都市の形成）	検討中	・内部検討を実施
125 「五稜郭とその関連施設群」の世界遺産登録を目指す活動の推進と機運の醸成	検討中	・内部検討を実施
126 伝統的建造物など歴史資源を活かしたまちづくりの推進、都市ブランドの構築	実施	・西部地区における景観形成を図る住宅等に対する建築奨励金を継続実施したほか、西部地区ならではのまちぐらしの実現に向けて函館市西部地区再整備事業を継続実施

市長公約の令和5年度進捗状況

【進捗状況】 実施：実施済み、または推進中のもの
 一部実施：公約の実施に資する一部の取組が行われているもの
 検討中：実施に向け、検討を行っているもの

公約項目	R5年度進捗状況	R5年度の取組内容
127 総合ミュージアムの開設	検討中	・「(仮称)総合ミュージアムの整備にあたっての基本的な考え方(たたき台)」の成案化に向け、市民、関連団体等で構成する検討会議にて協議を実施
128 「函館・文化の日」の制定	検討中	・「函館市民文化祭」の関連イベントの開催を促進するなど、市民が文化に親しむ機会を増やし、「文化のまち函館」の機運醸成を図った
129 ワールド・アーティスト・イン・レジデンス(海外・国内アーティストの招聘・滞在・交流事業の推進)	実施	・アーティストインレジデンスとして、国内アーティストの招聘を継続実施 ・はこだて国際民俗芸術祭開催に係る補助金を継続支出
130 地域文化資産を活用した文化事業への支援(地域活性化につなげる)	一部実施	・函館野外劇や歴史的建造物等を活用した文化活動などを支援した
131 文化・スポーツを所管する市長部局を新設、各種文化スポーツ団体との連携・支援強化	一部実施	[市長部局新設] ・移管事務等について検討を実施 [文化スポーツ団体との連携・支援強化] ・スポーツ団体への支援を継続実施したほか、文化芸術団体の活動を支援する補助金を創設
132 スポーツコミッションの新設(大会・合宿誘致、スポーツツーリズムの人材育成、スポーツ・健康のまちづくりの推進)	検討中	・内部検討を実施
133 海に親しむ文化の醸成とマリッジの普及・振興(サーフィン、フィッシング、ビーチイベント等)	実施	・入舟海水浴場を継続開設 ・アーバンスポーツ、ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し、普及振興策についての意見収集を行った
134 スケートボード、スポーツクライミング等アーバンスポーツの普及、振興	実施	・はこだて市民健康大学のイベント内で、すべての市民がスポーツに親しめるアーバンスポーツ等の体験イベントを開催 ・アーバンスポーツ、ニュースポーツ等の競技ごとに懇談会を実施し、普及振興策についての意見収集を行った
135 スポーツクラブ等との連携強化と部活動の地域移行の推進	一部実施	・部活動のあり方を検討・協議する協議会を開催したほか、先進地視察や児童生徒等へのアンケート調査等を実施(R6年度に地域連携として拠点校方式による合同部活動のモデル事業を実施)
136 デジタル技術を活用した外出困難者のスポーツ参加機会の確保	検討中	・内部検討を実施
137 産学官連携によるeスポーツ振興プロジェクトの推進(体験拠点整備)	一部実施	・eスポーツを活用したIT人材の育成を継続して実施